

令和5年4月26日



学校だより 5月号

横浜市立瀬谷さくら小学校
校長 場家 誠

学校教育目標 「自分大すき 友だち大すき このまち大すき さくらの子」

(知) 困難なことにもあきらめずに挑戦する子に育てます。

(徳) 物事の善悪をきちんと判断し、辛抱と我慢のできる子に育てます。

(体) 自分や人の命を大切にする子に育てます。

(公) 小さなことでも、社会に役立つための行動ができる子に育てます。

(開) 様々な人とのコミュニケーションを通じて、社会への視野を広げる子に育てます。

スタートカリキュラム=6年間のベースづくり

校長 場家 誠

新学期が始まって、約3週間。子どもたちは、それぞれのクラスや学年で目標を立てたり、年間の見通しをもったりしながら、少しずつ新しいクラス新しい学年での生活に慣れてきています。

昨年度も学校だより5月号で紹介しましたが、今年度も、1年生の「スタートカリキュラム」について少しご紹介をします。「スタートカリキュラム」は、子どもたち一人一人が幼稚園や保育園で経験してきた学びをもとに様々な「人」や「もの」、「こと」と関わりながら、できるだけ滑らかに学校生活をスタートさせるというカリキュラムです。例えば、「なかよしタイム」では、思い切り遊ぶ中で友だちとの関わりや担任との関係性をつくっていきます。また、「わくわくタイム」では、生活科の学習を中心に数やひらがななどを学んでいきます。「ぐんぐんタイム」では、各教科等の学習を学んでいきます。このように子どもたちが「安全に」かつ「安心して」生活し、学べる「居場所づくり」を丁寧に行っていくことで、6年間にわたる学校生活を送るためのベース(=安心感につながる心の拠り所)がつくれます。

この取組に効果があることは、これまでに積み上げてきた各学校の実践報告からも明らかですが、今年度の本校においても、さっそくその成果が出ています。先日、視察にいらした横浜市こども青少年局の方から「子どもたちが生き生き活動していますね。」とか「子どもたちが我慢することなく、自分の思いをのびのび表現できています。」といった言葉をいただいたのです。これからもスタートカリキュラムをはじめ、様々な教育活動の充実を図り、「だれもが」「安心して」「豊かに」生活できる学校づくりに向け、教職員一同、全力で取り組んでまいります。今後も変わらぬご理解ご協力をお願いします。

